

宮城県内におけるガンカモ類生息調査の結果について(確定値)
(平成29年3月9日実施)

1 生息数及び構成比

種類	羽数:羽	構成比:%	備考
ガン類	14,838	42.4	過去4番目に多い
ハクチョウ類	384	1.1	過去43番目に多い
カモ類	19,774	56.5	過去36番目に多い
計	34,996	100.0	過去12番目に多い

※この調査は昭和47年度から実施しており、今回は45回目である。

2 前年同期との比較

単位:羽

調査月日	ガン類	ハクチョウ類	カモ類	計
平成29年3月9日	14,838	384	19,774	34,996
平成28年3月10日	672	368	20,297	21,337
増 減	14,166	16	▲ 523	13,659

3 主な確認地

(1)ガン類

昨年の羽数

蕪栗沼	大崎市田尻	11,299 羽	15 羽
伊豆沼・内沼	登米市・栗原市	1,292 羽	185 羽
長沼	登米市	1,134 羽	308 羽

(2)ハクチョウ類

昨年の羽数

鳴瀬川一木間塚橋地点	大崎市鹿島台	61 羽	1 羽
鹿島台大柳	大崎市鹿島台	41 羽	0 羽
迫川一ニッ谷橋付近	登米市	40 羽	0 羽

(3)カモ類

昨年の羽数

伊豆沼・内沼	登米市・栗原市	1,748 羽	1,478 羽
南川ダム	大和町	749 羽	162 羽
長沼	登米市	690 羽	58 羽

4 調査箇所数

県内のガン、ハクチョウ、カモ等の飛来地約500か所

5 調査人員

県職員、県自然保護員、蒲生を守る会及び日本雁を保護する会の会員等 102人

6 その他

本調査の内容については、宮城県自然保護課ホームページで確認できます。

HPアドレス <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sizenhogo/gankamo-top.html>

7 飛来状況

2月の北東北での寒波の影響が多少見られるが、順調に北帰行が進んでいる。